

# みなと区議会だより

No 164 2006年(平成18年)4月11日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

第1回定例会  
2月23日～3月17日



## 平成18年度予算総額 1,383億円を可決しました

次代の港区を担う子供たちを育む環境づくりへ  
～出産費用 区が助成、費用50万円まで自己負担ゼロに～

平成18年第1回定例会は、2月23日から3月17日までの23日間にわたって開会され、まず、初日、二日目に11人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問等が行われました。

質問は、財政問題について、「格差社会」の拡大から区民生活を守れ、自転車等駐車場の整備について提案、特別区の再編について区長の考えは、区有施設のアスベスト対応について、区役所・支所改革について、エコマネーを区役所・支所改革と連動させて導入せよ、ボランティア制度について、歩行喫煙禁止の徹底を、など区政全般にわたりました。

平成18年度の一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、介護保険会計の各予算は、予算特別委員会を設置、3月3日から13日まで慎重に審査し、いずれも原案どおり可決、共産党議員団から提出された一般会計予算案に対する修正案は否決されました。

区長から提出された案件は、条例など43件、平成17年度補正予算2件を原案どおり可決しました。

皆さんから提出された請願は、3件を採択、不採択が3件、取下げが3件、32件を継続審査としました。

議員提出による案件は、意見書など5件を可決し関係機関へ送付したほか、新規条例案1件、条例改正1件の計2件を継続審査とし、継続となっていた条例案2件は撤回されました。また、区役所・支所改革に伴う組織改正に対応した委員会とするため港区議会委員会条例の一部を改正する条例を可決しました。

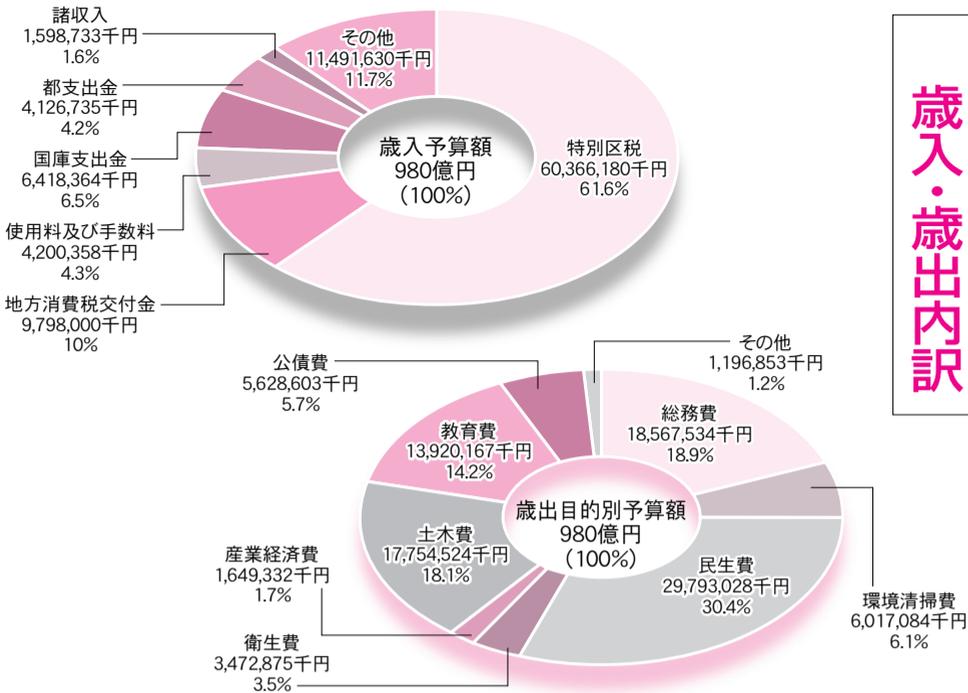
追加提出された人事案件は、人権擁護委員候補者の推薦について可決しました。

### 第1回定例会 会議日程

2月23日	運営委員会 本会議 会期決定 諸報告 区長所信表明
24日	運営委員会 本会議 一般質問7名 議案 等付託 予算特別委員会の設置
27・28日・3月1日	常任委員会 議案等の審査
3月2日	運営委員会
3月3日	予算特別委員会
3月10日	運営委員会 本会議
3月14日	運営委員会 本会議 会期延長
3月15日	追加議案付託 総務・保健福祉・区 民文教常任委員会 議案等の審査
3月16日	総務・保健福祉・区 民文教常任委員会 議案等の審査
3月17日	常任・特別委員会 委員長報告・中間報告 運営委員会 本会議 議案等の議決

### 目次

表紙	1
予算特別委員会	2
代表・一般質問	5
請願・意見書	7
審議結果	8
お知らせ	8



一般会計予算  
歳入・歳出内訳



各会派の主な質問・要望事項

自民党議員団

《歳入》税の収納対策と徴収時の安全対策について《総務費》白金台交番復活、消防団の練習場所及び待機所設置について、外郭団体への補助金のあり方と職員派遣の見直しについて、まち探訪事業について、総合支所における地域活動への効果的支援について、区民まつり、区政60周年記念事業、電子入札について《環境清掃費》ペットボトル、生ごみリサイクルについて《民生費》百歳以上の長寿者への対応、特養ホームシヨートステイ対策、介護予防策、高齢者の健康づくり・健康増進支援に

ついて、子育て家庭へのベビシッター派遣支援、ひとり親家庭への支援策について高齢者や障害者の住まいの確保支援について《衛生費》健康みなと21推進、歯周病予防・歯の健康づくり、健康相談体制、食育について《産業経済費》ものづくり・商業観光フェア、商店街店舗改装支援事業について、まちづくり3法の見直し、商店街と地方都市のふるさと物流交流事業について、港区商店街連合会のカード事業について《土木費》古川の貯留治水対策推進、遊戯施設問題と紛争予防条例の改正につい

て、公園の安全・安心に配慮した整備と維持管理の具体的方針について、用途転換の児童遊園の活用、子育て世代が住める住宅確保策、放置自転車対策、仮称大門・浜松町駅自転車等駐車場整備について《教育費》通学路の安全体制整備、子どもの読書対策、小中学校の英語教育に区内大学との連携、公私立幼稚園親の負担格差是正、幼稚園3年保育の拡大、中学校の部活動、学力の向上、学校跡地の暫定活用について《総括》三位一体改革、障害者自立支援法の施行後の対応、中高一貫教育、総合型地域スポーツクラブについて

共産党議員団

◎住民票等無料発行の拡大◎防災用水洗トイレを学校に◎区役所電話をフリーダイヤルに◎若者の雇用、区で健診を、サービス残業ノー宣言を◎貸出用の騒音計、振動計を増やせ◎特養ホームの増設◎高齢者の孤独死問題◎高齢者集合住宅の安否確認システムの改善◎高齢者の宅配サービス◎全福祉会館に通信カラオケを◎保育園待機児童解消を◎介護保険で除外される方にヘルパー派遣◎介護保険料の引下げを◎障害者自立支援法の利用者負担を3パーセントに◎障害者雇用の拡大・仕事の確保◎福祉会館の食事サービスの改善・各種教室の講師料の復活◎青山児童館の建替え◎児童手当の拡充◎麻布保育園・福祉会館の早期建替え、仮設園舎付近の安全確保◎台場地域の3・4歳児健診◎成人健診票を全員に◎不妊治療者への支援◎商店街の調査に基づく支援◎ちいばすの路線拡大・無料乗車券の拡大◎家賃助成の復活◎区民向住宅の家賃凍結の継続・引下げ◎少人数学級の実施◎保育園・学校の施設改善要望に応え◎給食用白衣のクリーニング回数増を◎学校選択希望制の見直しを◎修学旅行に助成を◎屋外スポーツ施設の確保を◎赤坂氷川神社の山車復活に支援を

公明党議員団

《歳入》三位一体改革について《総務費》区役所・支所改革について、テレビ電話相談機の活用、災害・防災対策、本庁舎レストランについて、団塊の世代対策、区有地・郊外施設の土地活用、男女平等参画《環境清掃費》自動販売機の省エネ対策、ネオン広告塔の規制、みなとタバコールについて《民生費》コミュニティバスの支援拡充、子ども支援センターについて、児童手当の拡充、高齢者など災害要援護者の緊急対応策、高齢者住宅等の火災警報器設置について、介護保険・地域密着型サービス事業の展開《衛生費》タバコの禁煙対策、健康づくりについて、不妊治療助成について、がん対策《産業経済費》総合的キャリア・カウンセリング事業について、中小企業融資あつせん制度について、観光振興施策、観光資源の活用《土木費》公衆、公園トイレの整備、高輪三丁目森の遊び場の整備、民有地「開東閣」の開放について、都営地下鉄「高輪台駅」のエレベーター設置について、区民向け住宅施策について、港区交通バリアフリー基本構想について、田町駅東口・浜松町駅の開発動向について《教育費》犯罪から子どもを守る対策、食育について

民主クラブ

《総務費》CATV会社に港区職員を派遣するメリットは何か。地上デジタル放送が本格化すると電波障害は解消されるのか。は「安ければよい」という入札でよいのか。《環境清掃費》赤坂6丁目目の清掃車両の火事について、きめ細かな清掃事業について。《土木費》みなと都市整備公社の収益見直し。貸付金(平成13年)18億の回収状況。麻布十番公共駐車場は単体では赤字なのでは? 公社を清算して駐車場を民間に委託すべき。約80億の債務の返済の見通しは? 区に支援を求める前に公社は企業努力をすべき。《産経費》景観事業費について、観光インフォメーションセンターの麻布十番、お台場への設置について、JTBふるるぶの港区版について《教育費》「教育の港区」実現のためには、港区ゆかりの先人の活動を生かすべきだ。《総括質問》先駆策を行う自治体に職員を派遣せよ。子ども支援部の拡充。名誉区民。国有地の取得には低層開発を全面に。区立図書館に「洋書」と「絵本」の拡充を。

オンブズマンみなと・一票の会

《総務費》▼港区のジェンダー予算は▼男女平等参画活動支援事業について▼男女平等参画推進団体の育成を▼リーブラについて▼契約事務において見積書を適正に徴取せよ▼ヤミ専従職員の給与を返還すべき《環境清掃費》▼温暖化防止と国際協力について▼みなとタバコールを見直し、有効な歩行喫煙防止対策を《民生費》▼精神障害者に対する対応策の切迫した必要性について▼高齢者の緊急保護事業の充実を▼保育士他、変則勤務職員の服務について《産業経済費》▼勤労福祉会館金券紛失事件に関する職員の処分について《教育費》▼学校選択希望制について《介護保険費》▼介護保険法改正に対する区独自の対応は▼地域包括支援センターの管理運営について

# 平成18年度予算特別委員会

## 平成18年度各会計予算

2月24日の本会議において、全議員32名で構成する「平成18年度予算特別委員会」(井筒宣弘委員長、星野喬副委員長、山越明副委員長)を設置し、平成18年度各会計(一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、介護保険会計)予算の4案について3月3日から13日まで7日間にわたり活発な審議が行なわれました。

この中で、一般会計予算案に対し共産党議員団から修正案(歳入=2億9436万4千円増、歳出=民生費2億1978万4千円増(重度要介護高齢者手当の支給他)・教育費7458万円増(小中学校入学支度金他))が提出されました。3月13日の特別委員会最終日において、各会派が予算原案及び修正案に対して態度表明を行い、修正案は賛成少数で否決され、予算原案が賛成多数で可決されました。

その後、3月17日の本会議において、予算4案がそれぞれ賛成多数で可決されました。

会計別	予算額	前年度増減率
一般会計	98,000,000千円	7.1%
国民健康保険事業会計	16,612,739千円	6.2%
老人保健医療会計	13,882,487千円	0.3%
介護保険会計	9,886,797千円	13.0%
合計	138,382,023千円	6.7%

## 各会派の主な質問・要望事項

### 港区民クラブ

総合支所と本庁の関係/区役所改革担当、人事組織制度担当の役割と外郭団体改革推進担当の役割/幼児の矯正メガネについて/理由を問わない一時保育の拡大を/健康入浴推進事業の展開を/お口の健康フェスタ/アドプト・システムを行なっている団体に草花を区で用意を/虎ノ門六本木地区再開発事業の話し合いの継続/仮称地域教育会議について

### みなとかがやき

電子掲示板を設置せよ。引退後の消防団員を活用せよ。職員削減目標を条理化せよ。説明会の動員方法を根本的に見直せ。産業文化展を真に地場産業の活性化につながるものにせよ。区立小学校に安心・安全という観点から制服を導入せよ。街路樹の足元に花を植えよ。AED(自動体外式除細動器)を実効性ある施設に配置せよ。数学・理科教育の充実を図れ。

### ネットワークみなと社民

港区らしい不妊治療の助成を。子どもの安全対策に自転車用幼児ヘルメットの普及を。レジ袋削減のために港区マイバックのデザインを区民参画で。区議会選挙において誰もが投票しやすいつい仕組みづくりを。総合支所で地域の課題解決のため、市民活動支援を。犬の登録の際には、基本的なマナーや動物愛護の精神の啓発を。放置自転車削減のため係員の配置場所の拡大を。

### 仲間へ勇気の会

国際交流協会の活性化。保養所のサービス向上。三田4、5丁目を支所管轄に。福祉会館事業講師に謝礼を。福祉会館の魅力向上。認証保育所保育料助成。ひとり親家庭支援拡大。飼主のいない猫を世話する方への支援拡大。ドッグランについて。全中学生に救命講習を。港ユネスコ協会への支援強化。防災訓練の経費削減。ペット同伴等内容の充実。給食の安全性向上。

## 平成18年度 予算に対する 各会派の態度表明

修正案については、単なるばら撒きの印象を拭えず、財政調整基金を投入するほどの緊急性もない、よって否決すべき。平成18年度一般会計予算他3案については、予算審議を通じ、我が会派が出した意見・要望等を、予算執行にあたり十分反映されるよう要望し、いずれも原案に賛成する。

超高層ビルが林立する再開発事業等には多くの住民が反対しているが、相変わらずの巨額の補助金支出。指定管理者の導入で、区民の福祉・教育等の要望に背を向け、利潤目的の企業に管理運営をゆだねようとしている。住民の福祉向上を地方自治の立場でより強める立場から予算原案には反対する。

一般会計予算修正案については、現金給付のあり方など幅広い議論が必要と考えます。よって、一般会計予算修正案については現時点では反対致します。平成18年度予算4案については、公明党議員団の意見・要望等が予算執行面で十分反映され、区民本位の区政が実現することを期待し、賛成します。

平成18年度は、安全で安心して暮らせる地域社会、区役所・支所改革、港区の次代を担う子供たちの環境づくりを重点とした積極的な予算編成であり、予算執行にあたっては、民主クラブ議員団からの意見、要望が今後の区政に反映される事を要望して予算4案に賛成します。

### オンブズマンみなと一票の会

総合支所制度が発足する18年度予算は過去最大の規模で、区民に良質なサービスを提供する目的は良いとしても、不要不適切な出費には十分留意すべきです。但し福祉面での国費の手詰りは区独自の力で支えねばなりません。安定財政の港区はまた高福祉の港区となる事を要望し予算4案に賛成します。

### 港区民クラブ

区役所・支所改革がスタートする年にあたり、区民と総合支所との協働による課題解決を目指し、相互の情報共有、住民参画の地域情報の発信(仮称)地域教育会議の設置等、地域に根ざした予算編成であり高く評価する。我が会派の要望事項に積極的に取組まれることを期待し予算4案に賛成する。

### みなとかがやき

豊かな財政から、積極的な予算を組めることのあるがたさを再認識して欲しい。しかしながら、貴重な税金をバラまくことなく、常に人件費の抑制など内部努力をおこたることなく、不断の努力を積み重ねてもらいたい。区長のリーダーシップに期待して、予算4案については賛成します。

### ネットワークみなと社民

最重要課題の「次代の港区を担う子ども達を育む環境づくり」では、子ども支援部で更なる施策の展開を。学校選択希望制は、しっかりと検証し、区民の声を反映すべき。区役所・支所改革が始まり地域の課題は地域で解決するために、区民と行政の信頼関係を構築すべき。予算4案は原案通り賛成。

### 仲間へ勇気の会

きめ細かいサービスを目指し、区は4月より支所機能を大幅拡大します。それにより、放置自転車や歩行喫煙等、今まで解決の難しかった問題にも十分な対策がなされることを希望します。地域の課題を的確にとらえ、1人でも多くの方に喜ばれる施策が行われることを期待し、予算4案に賛成します。

# 代表・一般質問(要旨)

2月  
23・24日

## 財政問題について

質問 ①三位一体改革により住民税フラット化による港区の歳入減見込みはなんとしても回避すべき。区議会は、国や東京都に財源補償策を講じる方策を。

②後期基本計画は、当初の予想を上回る人口増加や良好な財政状況等を踏まえ、見直しされたが、財政収支の見直しについて。

答弁 ①同様な立場にある自治体と連携し、区の影響額に見合う財源補償措置の実施を国に要望する。東京都等には、区間配分の見直しを含めた都区財政調整制度における適切な対応を働きかける。②株価や地価等の動向を注視し、それが区の歳入に及ぼす影響を検証する。

## 区役所・支所改革について

質問 ①区役所・支所改革は4月からの各地区総合支所を中心とした新組織と体制によるスタートまで1カ月となった。現在の準備状況は。②区民への周知方法について従来の広報、ホームページ等だけでなく有効な手法について。③区民と接し、区民と協働し、区民とともに解決を図る職員の意識改革について。

答弁 ①総合支所への内示を受けた管理職を中心に準備部会を設け、総合支所に移管する業務の引継ぎ、研修を実施している。②広報みなとの区役所・支所改

## 自民党議員団

革特集号を3月21日号で発行。同時に手続き案内のチラシを作成するなど4月当初の受付窓口の混乱がないよう努める。③事務事業の理解・習熟を深めるよう指導するとともに、区民の視点から実践的な研修や各総合支所で区民を講師とする研修などを実施する予定。

## 区民の安全・安心を守る体制は

質問 ①区民の安心・安全を確保するための、災害発生時の本庁支援部と5つの総合支所との連携体制づくりについて。②災害時対策で最も留意しなくてはならない災害時要援護者対策は。

答弁 ①総合支所を迅速な対応が取れる機動力のある地区拠点とし、支援部等は、災害対策要員を地域に効率的に配置する。②災害時要援護者名簿は、個人情報保護の観点からも慎重に検討する必要がある。早い時期に作成の準備を進め、災害時要援護者の居住する地区の総合支所や消防署等に保管、災害発生時の救助や支援に役立てる。

## 防犯対策・交番対策について

質問 ①現在、整備中の児童遊園用地や公園の安全対策は。②白金台5丁目の(仮称)どんぐり児童遊園のワークショップ成果物にも交番予定地が記されている。

る。交番施設を設置し、地域防犯パトロールのサテライト的な役割を持たせ、みんなどパトロールの詰め所等に活用すべき。③犯罪増加傾向を受け交番の復活を望む声が高い。積極的に誘致活動を推進するとともに、無

人交番対策として地域防犯パトロール詰め所等に活用すべき。

答弁 見通しの良い公園づくりや公園灯の増設、区民協働による安全パトロールを実施する。②交番設置を警視庁に強く要請するとともに、地元町会・自治会をはじめ、生活安全活動推進協議会などの意見を十分に聴き

検討する。③国や警視庁では、無人交番の解消に向けた取組みがされている。地域の安全・安心が確保できるよう、各地区の意見を十分に聴き、警察署の意向なども踏まえ検討する。

## 耐震診断から建替えまでの支援策

質問 区は、耐震診断まで無料または一定の助成を実施している。今後、老朽化が進んだ個人住宅の建替えに何らかの支援を。

答弁 個人住宅の建替え支援は、国等の動向を見ながら、公平性の観点も含め慎重に検討する。地域の商店会及び区全体の商店街振興を応援する体制づくりについて

質問 ①各総合支所で行う地域の商店街振興、中小企業支援との役割分担について。②区民から喜ばれなくなった区内共通商品券の今後のあり方について。



▲仮称白金台どんぐり児童遊園に交番設置を

区内の事業所全体に統一的な支援が必要な事業を行う。②マスクカード事業の実施、携帯電話による簡易なクレジット決済事業など、小規模店舗も参加できる新たな事業も計画。今後のあり方については、港区商店街振興組合連合会等と協議する。

質問 学校は放課後児童育成事業に関わり、地域の人々と協働し放課後において子どもが抱える課題に積極的に対処すべき。

答弁 学校施設等の有効活用により活動場所を確保し、地域と学校、教育委員会事務局が協力し、子どもたちの安全で安心できる居場所づくりに努める。

## 幼稚園について

質問 ①新たな、公私立幼稚園保護者負担の格差是正への取り組み、幼少人口の増加傾向を踏まえ区立幼稚園の適正配置問題に柔軟に対処することは評価できるが、懸案となっている3歳児保育園の拡大はどうなっているのか。②芝浦アイランドに開設する「こども園」は、制度上認可保育園である以上、所管は保健福祉部となるが、「幼児教育」の場から教育委員会が積極的に関与すべき③「子ども園」は、新しいタイプの幼稚園と言わせてもらうがこのような事業の将来

展開について、教育長の考えは。答弁 ①現在、3園で3年保育が実施出来るよう幼稚園PTA、学校関係者との意見交換や私立幼稚園側に理解を得るための説明を行っている。今後「公私立幼稚園調整審議会」での審議を踏まえ、実現に取り組み。②質の高い幼児教育を望む保護者の期待に応えるため、幼児教育の専門的な分野について積極的に支援していく。③幼稚園教育の質をより一層高めるとともに、保育園機能や子育て相談機能を加えた、新しい区立幼稚園の創造に向け取り組み。

## 元気高齢者への支援について

質問 ①平成19年以降、60歳以上の高齢者人口が急増すると予想され、団塊の世代の高齢化が今、大きな社会問題となっている。団塊の世代を積極的に支援する施策を展開すべき。②長い社会生活の中で培ってきた知識と経験を、地域社会の活性化にも繋げるべきと考えるが。③港区に立地する健康増進に係る地域の資源の総力を結集し、団塊の世代の健康づくりを支援する仕組みづくりについて。

答弁 ①この世代の社会参加や活性化等の支援計画の策定において、初期の段階からの参加をお願いする。②団塊の世代が持つ知識や経験を、地域の中で十分発揮できるように仕組みづくりを進める。③来年度から、健康増進センターでも健康トレーニング事業を予定。今後も、民間スポーツクラブの活用等、区内のさまざまな健康資源を活用して、環境の整備に努める。

## みなとタバコルールの推進に向けて今後の取り組みについて

質問 昼間人口の殆どといえる区外からの来街者の認知度が低い。

答弁 ①安定した運営とともに、低所得者にも配慮されたしくみ

答弁 鉄道駅等における啓発放送の要請や階段への啓発シールの

## 小泉改革によってもたらされた「格差社会」の拡大から区民生活を守れ

### 共産党議員団

質問 小泉政権の構造改革路線により、国民の貧富格差が広がった。区内では生活保護・就学援助世帯が急増している。区民生活の実態について区長の認識は。

答弁 区民生活状況は認識している。適切に区政運営をする。

## 若者の雇用確保とサービス残業の根絶を

質問 若者の雇用実態は、正規雇用から臨時、契約社員という非正規雇用になった。この実態を変えるため、①区内の主要企業に新規採用を行うよう要求せよ。②区がハローワークなどと協力して合同就職面接会の開催を。

答弁 ①各企業には採用計画があるので、新規採用を要請する考えはない。②ハローワーク品川では年3回、就職面接会を開催。区は広報等、後援など連携する。

## 高すぎる介護保険料の引き下げを

質問 ①高すぎる保険料に対する区長の認識は。②施設サービス費を第一号被保険者に負担させるしくみについて③財政安定化基金からの借入を交付金とするよう交渉し保険料軽減に活かせ。④保険料減免について一般財源投入を。⑤税制改正による激変緩和対象外の人への対応について⑥減免対象を拡大し、介護サービス利用料の軽減を行うべき。⑦特養ホームなどの社会福祉減免は適及して支給を。

答弁 ①安定した運営とともに、低所得者にも配慮されたしくみ

表示等多様なPR強化策に取り組む。

とすることも不可欠。②国に要望することは、考えていない。③現在、交渉をしている。④⑤考えていない。⑥新たに訪問看護についても、利用者負担を3%にする。預貯金限度額は緩和する。⑦適及して実施する。

## 障害者「自立」支援法について

質問 法の施行によって、「応能負担」が「応益負担」になり負担が重くなる。①区は障害者福祉を後退させない立場に立つべき。②障害者の負担軽減策を実施すべき。③障害者の入所施設の建設計画の早急な具体化を。

答弁 ①都とも連携して、必要な方に必要なサービスを提供する。②検討している。③その後の動向等を慎重に見守り判断する。

## 大規模開発から区民の住環境、街並みを守る問題について

質問 「これ以上超高層ビルの乱立はやめてほしい」が多くの区民の声だ。①「都市再生緊急整備地域指定」を国に返上すべき。

答弁 ①安定した運営とともに、低所得者にも配慮されたしくみ



▲「区民サービス残業の根絶を」など要請する青年たち

②港区の住環境、景観、街並みを守る仕組みの早急な確立を。

答弁 ①調和のとれた良好な住環境の創出、保全が区の街づくりの方針だ。指定の返上は考えていない。②街づくりマスタープラン改定の中で区民参画による活用に向け、定住まちづくり条例の改正等、積極的に取り組む。

区の平和事業の発展・強化を

質問 平和都市宣言をしている港区だからこそ①(仮称)港区平和条例の制定を。②常設の平和展示施設の設置を。③区立芝公園を区の平和公園とすること。

答弁 ①②③考えていない。今後平和都市宣言の理念に基づき区民に平和の尊さを訴えていく。

医療制度改革法案について

質問 高齢者への負担増と「保険免責」制度、「混合診療」制度は、皆保険制度を崩すもの。医療制度の改悪をしないよう国に申し入れよ。

答弁 今後の国会の審議等を見守りながら対応する。

国民健康保険証の取り上げ、減免について

質問 ①滞納の実態をよく調べ、保険証の取り上げ、資格証の交付はやめよ。②低所得者の負担軽減のため、港区独自の減免制度を行え。③引き下げられた国の負担を元に戻すよう国に求めよ。

答弁 ①適切な納付相談や納付指導などに努める。②23区の共通基準で運営する。③安定した財政基盤の確保を要望していく。

特別養護老人ホームを増設せよ

質問 待機者を解消するため、新橋・南麻布特養ホーム建設だけにとどまらず増設計画を。

答弁 今後は、平成21年度からの計画の策定において検討する。

ショートステイの増設について

質問 ①施設の空き情報の提供を。②介護者の実態に合わせた増床計画を。

答弁 ①各施設と協議し検討する。②5月オープンの新橋六丁目「新橋さくら園」後期基本計画にある南麻布四丁目施設で、おおむね必要量は確保される。

待機児解消のため保育園の増設を

質問 「子育てするなら港区」と自

称するならば、認可保育園増設が責任をもって具体化せよ。

答弁 平成19年4月に芝浦アイランドこども園を開設予定。新たな保育施設の設置は、今後の保育需要を見極め検討していく。

災害時対応のトイレの早期設置を

質問 区内全指定避難場所を対象に設置計画の策定と早期実施を。

答弁 災害時の避難所となる小中学校における貯留型水洗等のマンホールトイレの整備は、平成18年度中に計画を策定する。

麻布十番駅自転車等駐車場の整備について提案

公明党議員団

質問 麻布十番駅自転車等駐車場整備は調査費が計上されたが、麻布十番駅には出入口が9カ所あり、自転車や自動二輪が広範囲に放置されている。そこで①鳥居坂下の自転車等置場を立体的土地利用し再整備をすること。②麻布十番公共駐車場上部の地下通路を活用すること。③自転車駐車を道路付属物として設置できると改正した道路法施行令による、一の橋交差点周辺の都道の歩道上に整備すること。

答弁 ①一階にバイク等、二階に自転車等を収容する駐車場の整備の可能性を調査検討する。②既存の出入口は、急勾配のため支障があり、新設についても課題があり調査する。③東京都に要請するとともに協議を行う。

都区財政調整制度見直しについて

質問 「都区間協議」に臨んで一歩も引かないとの決意が重要、

答弁 ①総合支所で取り扱う業務

の事務処理手順図と引継ぎマニュアルを作成、研修を実施、マーケティング研修等で政策立案能力向上、窓口サービス向上の実践的研修を実施。②各支援部は政策立案機能を持ち地区固有の課題解決に向け区民協働を実践する地区政策課を、各分野から支援する立場で政策、施策の均衡、総合支所間の調整を行う。

男女共同参画について

質問 ①閣議決定された第2次男女共同参画基本計画を受けて、区の施策への反映について。②「港区地域防災計画」の見直しにあたり、第2次基本計画が求める防災計画策定過程での、女性の参加と、男女双方のニーズに配慮した防災計画とするための、様々な意見聴取が必要と思われる。

答弁 ①全庁的に周知するとともに関係機関等で意見を聴取し、区政に反映させるよう取り組む。②様々な機会を通じて、女性の参画、意見聴取に努め、港区防災会議において検討する。

「一の橋公園」の再整備を

質問 区立公園や児童遊園などを改善するため「港にぎわい公園事業」基本計画要素を発表し策定するが、「親水機能」を継続させる形で「一の橋公園」の整備についても計画に盛り込むことを要請する。

答弁 区民の皆さんのご意見を踏まえ、港にぎわい公園事業計画の中で位置付け、整備に取り組む。

児童手当の拡充について

質問 区は平成16年の合計特殊出生率が0.78と全国平均1.29を下回っており、物価や住宅費の高い港区での教育や子育てに

かかる経済的負担は大きいものがある。国の給付水準を上回る児童手当給付額の拡大と、支給対象年齢を中学3年終了前までの拡大に取り組むべきと思うが。

答弁 児童手当の上乗せは、様々な角度から検討する必要があると考えている。

学力向上に向けた取り組みは

質問 ①他区では、夏休みなど短縮し学力向上に取り組んでいるが区の見解は。②塾と連携して実施している「土曜特別講座」の成果及び状況の認識と今後の取組みは。③平成16・17年度「個に応じた指導重視型研究奨励校」の芝小中学校で2人の担任で子供を指導する研究を実施しているが、成果を活かし更なる学力の向上へどのように取り組むか。

答弁 ①学力向上には、夏休み期間中にできない子どもたちの興味や関心を大切にするとともに学習と学期中の質の高い授業が重要。②講座は自主的に学習する意欲が高まり、理解度が深まったと好評。来年度は全中学校を会場に実施。③小学校1年生20人以上の学級に区費講師を配置、2人で指導する体制で、学ぶ態度、学校への適応力を育成、学力向上に取り組む。



▲整備がまたれる自転車置場

と、保護者や教職員などへの啓発活動についての考えを伺う。

特別区の再編について区長の考えは

質問 「食育」への取り組みが盛り込まれ素案が示されたが、家庭、学校、保育所等における推進を行うため具体的な数値目標を取入れた食育計画の策定を行うこと

質問 2月16日、特別区長会と都との間で「主要5課題の整理に」ついての都区の合意事項」に基づき、都区間の協議が一段落し、新たな局面を迎えた。ここでは、都区間の役割分担を検討する中、特別区の再編も相上り載せようとの合意がなされている。今回の合意は、都区間の財政問題を発端とし、全く住民不在の中での都からの要求と見受けられる。現在の港区は、財政的にも恵まれており、都から見れば絶好のターゲットと思われる。港区は特別区再編の波に吞まれるべきではない。区長の考えは。

答弁 特別区再編についての論議は、都主導でなく、各区において、区民の意向を踏まえ主体的に検討を進めるべきと考える。

指定管理者への職員派遣は疑問

質問 指定管理者制度は、公の施設の管理に民間活力を導入することで行政サービスの質の向上と行政コスト削減が見込まれる。この制度で、区民の皆さんの意向に即した、より便利な施設となるよう期待している。しかし、指定管理者の中に、区の現役の職員が派遣されている事業者が含まれていることは疑問である。

答弁 来年度改定する「健康みなと21」で具体的な数値目標を設定するとともに、教職員研修の充実を図り、食育に関する情報発信や保護者との連携に努める。

民主クラブ

①公募で指定管理者となった団体への現役職員派遣はやめるべきである。②指定管理を受けた区の外郭団体に対する職員派遣のあり方について検討を。

答弁 ①今回の公募に向け、職員派遣は縮小する方向で検討。②18年度、外郭団体改革推進担当課長を設置し、外郭団体のあり方を検討する。検討結果を踏まえ、適切に対応する。

みなと都市整備公社について

質問 麻布十番公共駐車場については、建設費用が当初予想を大幅に上回ってしまった等の問題は、あるものの、その役割は理解し、評価する。しかし、みなと都市整備公社の関わり方や、区が巨額の損失補償をしている

質問 区は平成16年の合計特殊出生率が0.78と全国平均1.29を下回っており、物価や住宅費の高い港区での教育や子育てに



▲麻布十番公共駐車場

代表・一般質問

現実を考えると、早期に取り組み

むべき課題が満載している。① 駐車場を含めた交通行政は、街

答弁 ①18年度、総合経営部に外

郭団体改革推進担当課長を設置

公立中高一貫校の設置を

質問 公立学校においても、魅力

区有施設のアスベスト対応について

質問 区有施設50ヶ所について、

アスベストに関する目視調査を

10月中旬に終え、その結果をも

ではなか。中高直結した中等

教育学校の設置を検討する時期

オンブズマンみなと一票の会

質問 区役所の運用変更をどう考

えているか。②制度の見直しは

①17年度の方式では適切な

区役所・支所改革につ

いて、地域情報の発信

港区民クラブ

質問 ①区長が実現を目指す「よ

り便利で、身近な、信頼される

区役所」は、今回の区役所・支

エコーマネーを区役所

・支所改革と連動させ

みなとかがやき

質問 行政評価を施策全体の中で

どう位置付けているのか

答弁 政策、施策、事務事業などを

都区財政調整制度について

／障害者自立支援法について

ネットワーカーみなと社民

質問 港区民は、固定資産税等の

税金を約二千五百億円納めている

が、東京都と他の特別区に財

住民主体のまちづくりを

歩行喫

仲間へ勇気の会

質問 ①まちづくり条例の制定や

まちづくりセンターの設置など

住民主体のまちづくりを積極的



# 区民のみなさんから 提出された請願



## 採択した請願

導、ご助言等を賜われることを求める請願

▼「障害者自立支援法」における区の助成事業に関する請願(要旨)「障害者自立支援法」の成立により、重度障害があり、かつ所得の少ない世帯にとっては、かなり厳しい状況が予想されるため、「利用者負担金助成事業」などの負担軽減措置を検討されたい。

▼「港南地域に「ちいばす」の運行を求める請願(要旨)「買い物や通院及び図書館・支所・区民センター等を利用するにあたり、線路によって隔たれている港南地域の足として、品川駅西口から東口、港南地域、田町駅へと經由する「ちいばす」を運行されたい。

▼「(仮称)ディアナガーデン広尾」のゴミ回収に関する請願(要旨)「地域住民との話し合いがつかないまま、本年三月に引渡しを行う」としている南麻布五丁目「(仮称)ディアナガーデン広尾」のゴミ収集、集積、回収の方法等に関して、地域住民の生活、通学路の確保、環境保全等に配慮するよう建築・事業主を指導・指示されたい。

## 継続審査とした請願

▼民間人保護の国際人道法であるジュネーブ条約追加議定書ならびに、国際刑事裁判所(ICC)の速やかなる批准を日米両政府に求める意見書採択に関する請願

▼無差別殺戮兵器クラスター爆弾の使用禁止を求める意見書採択に関する請願

▼地元中小建設産業従事者の経営と生活危機打開のための緊急対策を求める請願

▼地元中小建設産業従事者の経営と生活危機打開のための緊急対策を求める請願

▼強行する森ビルの「虎ノ門・六本木」・「虎ノ門・麻布台」再開発について、住民の合意が取れるまで、都市計画決定下さないように港区議会・各派各議員に依頼する請願

▼仙石山(虎ノ門5丁目地区の一部)・虎ノ門・六本木地区及び虎ノ門・麻布台地区両市街地再開発区域に含まれる「虎ノ門・六本木地区及び虎ノ門・麻布台地区両市街地再開発準備組合」による再開発の申請を取り消し、白紙に戻して頂くことに関する請願

▼「虎ノ門・六本木地区市街地再開発準備組合及び虎ノ門・麻布台地区市街地再開発準備組合」の長年にわたる街づくりへの取り組みに理解をいただき、当地区の街づくりの早期実現に向けて協力を求める請願

▼政党助成金制度の廃止の意見書提出に関する請願

▼浜岡原発の原発震災を未然に防ぐことに関する請願

▼消費税の増税計画に反対する請願

▼六本木七丁目区域出雲大社前の通りに則して、六本木通りへの横断歩道及び信号機設置に関する請願

▼旧納絵小学校にある「みなとみどり」子クラブのビオトープ・田畑を、ビオトープ公園に拡充する請願

▼住居表示の早期是正に関する請願

▼安定した公的年金制度の確立等につき意見書の提出を求める請願

▼教育基本法の改悪反対の意見書提出に関する請願

▼劣化ウラン兵器禁止に関する請願

▼港区白金台1丁目住民の住環境および白金小学校の教育環境維持のため、仮称コンフォート白金台の計画見直し及び誠意的に対話をするよう指導していただくことを求める請願

▼六本木福祉会館(仮称)設立に関する請願

▼虎ノ門法曹ビル建設計画にあたって事業主・施工業者に住民と誠意をもって話し合いをもつよう求める請願

▼強行する森ビル(株)の虎ノ門・六本木地区市街地再開発に反対する請願

▼国民が安心して暮らせる年金制度確立のために、政府に年金「改革」法の実施を中止することを求める請願

▼「教育基本法の改正を求める意見書」採択に関する請願

▼「六本木・虎ノ門地区・地区計画」の都市計画変更案について

反対の請願

▼「六本木・虎ノ門地区地区計画」の都市計画変更の手続きを中止し原案を白紙に戻す請願

▼「六本木・虎ノ門地区地区計画」の都市計画の変更の原案についての反対の請願

▼「六本木・虎ノ門地区地区計画」の都市計画変更の早期決定に協力を要請する請願

▼障害のある児童の「子ども医療費助成」に関する請願

▼介護保険料についての請願

▼患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める請願

▼青南小学校における放課GO実施および港区立青山児童館の建設等に関する請願

▼(仮称)「高輪台プロジェクト」建設に関する請願

▼高松宮邸に関する請願

▼介護保険制度の全般的な見直しにあたり、誰もが安心して利用できる介護保険制度の改善を政府に求める請願

▼介護保険の「居住費・食費の自己負担拡大」についての請願

▼保育の都加算補助事業の継続について東京都への意見書提出を求める請願

## 取下げられた請願

▼介護保険制度の全般的な見直しにあたり、誰もが安心して利用できる介護保険制度の改善を政府に求める請願

▼介護保険の「居住費・食費の自己負担拡大」についての請願

▼保育の都加算補助事業の継続について東京都への意見書提出を求める請願

## 継続審査とした案件

▼港区重度要介護高齢者手当に関する条例

▼港区保育園の実施に関する条例の一部を改正する条例

## 撤回した案件

▼港区立小学校及び中学校卒業記念アルバム等作成費の補助に関する条例

▼港区出産祝い金の支給に関する条例

# 意見書

### 等を提出 しました

要旨

## 国民健康保険財政の危機を打開するための意見書

国民健康保険法改正案は、十月から七十歳以上で現役世代並みの所得がある高齢者の医療費の窓口負担を二割から三割に引き上げるなど、高齢者の負担増をもたらす内容を含んでいます。

よって、港区議会は、国の責任において、国民健康保険加入者の負担増を招くことなく国民健康保険制度を安定的に運営することが可能な財政措置とともに、国民健康保険財政の基盤を尚一層強化するための抜本的な対策を講じられるよう求めます。

## 内閣総理・厚生労働大臣 へて

日本と同様の安全基準が確保されるまで、米産牛肉の輸入再開の中止を求める意見書

輸入が再開されたばかりの米産牛肉から、BSE(牛海綿状脳症)の病原体がたまりやすい脊柱が検疫による目視検査で見つかりました。米産牛肉の安全性については不明な点が多く、米産牛肉の輸入が妥当かどうか、一から議論をやり直す必要があります。

よって港区議会は、輸入牛肉対策を根拠から見直し、全頭検査、全月齢の危険部位除去といった日本と同様の安全基準が確保されるまで、米産牛肉の輸入を再開しないことを求めるものです。

## 内閣総理・内閣官房長官・農林水産・厚生労働・外務大臣 衆議院・参議院議長 へて

古川の治水施設の早期整備に関する要望書

古川の氾濫によって、平成十六年十月の台風では床上浸水が五件、

平成十七年の集中豪雨でも床上浸水の被害が発生しました。都市化の進展に伴い、近年多発する集中豪雨時の急激な雨水の流入に、河川施設が必ずしも対処できていないことを示しており、治水対策に遅れが生じているものと云えます。

つきましては、早期に水害の解消を図るため、東京都におきまして古川の治水施設の整備を早期に、また着実に進めていただくよう強く要望します。

## 東京都知事 へて

電気用品の安全確保とともに電気用品安全法に定める販売猶予期間の延長等を求める意見書

四月一日から、電気用品安全法に基づく「PSE」マークの付いていない二百五十九品目の家庭電化製品が販売できなくなります。販売猶予期間の終了による中古家電

## みなさんの声を区政に

区議会では、区政に対する意見や要望を請願書として受け付けています。

特に定められた様式はありませんが、下記の書き方を参考に、次の必要事項を記入して下さい。

①日本語で請願の趣旨を簡潔に書いてください。

②請願者の住所、氏名(自署又は記名押印)を記入してください。なお、請願者が多数のときは、代表者を定め署名簿を添付してください。

③あて先は「港区議会議長」として下さい。

④請願には、1名以上の紹介議員が必要です。紹介の受け方等については、区議会事務局までお問い合わせ下さい。

◎問い合わせ  
区議会事務局議事係  
電話 3578-2111  
内線 2915-2917

〇〇〇〇〇〇に関する請願

紹介議員

請願の趣旨

理由

請願者 住所  
年月日  
氏名

港区議会議長あて

(本文)

請願の趣旨

理由

請願者 住所  
年月日  
氏名

港区議会議長あて

(表紙)

〇〇〇〇〇〇に関する請願

紹介議員

請願の趣旨

理由

請願者 住所  
年月日  
氏名

港区議会議長あて

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

※略称 オンブズ一票の会・オンブズマンみなと・一票の会 ネットみなと社民・ネットワークみなと社民

Table with columns: 案件名, 自民党議員団, 共産党議員団, 公明党議員団, 民主クラブ, オンブズ一票の会, 港区民クラブ, みなとかがやき, ネットみなと社民, 仲間へ勇気の会, 議決結果. Rows include various council proposals and budget items.

会期延長に伴い追加された議案等

Table with columns: 案件名, 自民党議員団, 共産党議員団, 公明党議員団, 民主クラブ, オンブズ一票の会, 港区民クラブ, みなとかがやき, ネットみなと社民, 仲間へ勇気の会, 議決結果. Rows include additional proposals added due to session extension.

一時保育のおしらせ

区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりします。傍聴しようとする会議の開会3日前(土日、祝祭日を除きます)までに区議会事務局へ電話等でお申し込みください。

【申し込み・問い合わせ先】
区議会事務局調査係 内線2921

米軍ヘリポート基地の撤去要請



東京都に対し要請書を提出しました。

港区には23区唯一の米軍基地があり、米軍ヘリコプターの離発着による騒音と事故発生危険性が問題となっています。このため、区議会は、米国大使館、防衛施設庁に対し、基地の撤去と臨時ヘリポート用地の原状回復を返還要請してきました。

平成17年の区議会活動

Table showing the status of regular council meetings (定例会の開会状況) with columns for meeting name, date, and duration.

Table showing the status of committee meetings (委員会の開会状況) with columns for committee name, month, and number of meetings.

※10月18日、財政等対策から名称が変更されました。

Decorative box containing the text 'あしがき' (Afterword) and '編集委員' (Editorial Committee) with names of members.